



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2005.1.26( No.2350 )  
週報 No.23

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎  
会 長 / 渡 邊 喜 彦  
会長エレクト / 小 越 憲 泰(クラブ奉仕A)  
副 会 長 / 渡 辺 勝 利(クラブ奉仕B)  
幹 事 / 五十嵐 寿一  
S A A / 船 越 正 夫  
会 計 / 荻根澤 隆雄

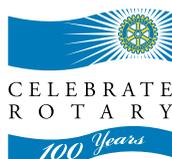
例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~  
例会場及び事務局 /  
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
例会場 / TEL 34-3311  
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
押ししてください)

本日の出席会員数:68名中49名  
先々週出席率:89.23%

【先週のメイクアップ】

- [ 1.19 ] 新井RCへ
  - ・加藤紋次郎さん
- [ 1.21 ] 吉田RCへ
  - ・加藤紋次郎さん
- [ 1.24 ] 三條南RCへ
  - ・五十嵐昭一さん
- [ 1.25 ] 三條北RCへ
  - ・菊池 涉さん、熊倉昌平さん、
  - ・五十嵐晋三さん、松谷昊吉さん、
  - ・会田二郎さん、加藤紋次郎さん、
  - ・成田秀雄さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」  
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



アザレア

## 次年度会長挨拶

小越憲泰会員



昨日、三信さんの新年会がありまして頭の中、昨日の酒が戻ったような気がして頭がぐるぐるしております。これから先どうなることや自分自身が心配しております。

さて、この1月はどの会でも初めの言葉は「昨年は災いの年で...」で全て始まっております。私も7月13日に水害で大きな被害を被り、大きな借金を負ってしまいました。私はこの水害で被害を被ったのですが、

素晴らしい物を発見しました。17日から3連休であったのですが、女房に言わせると延べ110人位の方から家にいろんな手助けをして頂いたそうです。シマト工業の若い社員の方とか、子供たちや女房の友達や、さらにその友達などの方たちから手伝っていただいたそうです。私の友達は1人もいませんでした。口は達者ですが、皆さん体が動かないものだから、そのなかで、その若い人達がほんとに泥まみれになりながら、床下に入りまして、文句1つ言わず泥を掻きだしていただきました。食事も満足にお出しすることが出来ませんでしたけれど、ほんとにその時人間の素晴らしさだとか、若者の若さの素晴らしさを感じる事が出来ました。私とその彼らの年に何していたんだらう、もしそんなことがあっても、自分自身ボランティアに来たかどうかと、ほんとに恥ずかしい思いをしながら人間の素晴らしさを感じたわけでありました。

つい先日、神戸の長田区へ行ってきました。10年前、阪神大震災のとき、私はヘルニアを患ってしまして、草野病院に入院してました。その時テレビを見ていると神戸で地震があったと報道されており、時間とともに火災や被害がひどくなっている状況でした。高速道路から車が落ちかかっていたり、火災の状況が映しだされており、そんな状況が頭に記憶として残っており、新長田駅に降り立ったとき「えーっ！」と驚いてしまいました。あの時、復興するには20年30年かか

ると言われていたのですが、それが丁度10年でこんなに変わるものかと、ほとんど形だけかもしれませんが、前以上に復興したような気がしました。それで感じたのは人間てすごいもんだなと、人間の力強さとはすごいもんだなと感じました。今、山古志、小千谷地区も中越地震で大きな被害を被っているわけですが、必ず人間のバイタリティーでそれが復興するのではないかと考えております。

今日は、先ほど理事会におきまして、12月の末におきました、スマトラ島沖の地震の義援金の徴収について理事会で検討されまして、来週から皆さんの方へ回ると思うのですが、一口2千円以上の形で基金を徴収するそうでございます。私も水害で被害を被ったわけですが、今、私共にできることはこういうお金で協力することが一番いいのではないかと考えております。どうか皆さんご協力の程宜しくお願い申し上げます。それから、今日は50代目の会長予定者でいらっしゃいます渡辺さんがおられますので、私の挨拶の後、渡辺さんから50周年の実行委員スタッフの方をご紹介していただきたいと思っております。

## 50周年会長予定者

渡辺勝利会員



先日ある会合で市長がこられて「おめ、来んかったねっか」と言われまして、「おまえの挨拶があったんだ」と言われました。あわて者の渡辺でございます。今、小越さんがとても新鮮な会長予定者のご挨拶をされましたが、私も極めて新鮮なつもりでここに立っております。この前の会報で樺山さん

が人間の持つ愚かさ目覚めようと自鍛十か条を書かれまして、それを読んでドキッとしております。今日の私のテーブルには日戸先生や渋谷先輩が居られまして、会長経験の大先輩の風格があふれ出る方の前で緊張しておりますが、年だけは67歳でございます。2年後69歳になるんです。いかにいままでポーンとしてぶら下がってきたかということをはんとに申し訳なく思っております。今、会報の件で話がまして、この会報のことで担当者がとても頑張っていることもわかっております。影で大勢の人に支えられているロータリーの記念すべき年度に会長をさせて頂くことになり大変緊張しておりますが、よろしくお祈りしたいと思います。現渡辺会長からいろいろとお骨折りをいただきまして、私の年度にイベントをやる為の実行委員長として石橋育於さんをお願いすることになりました。幹事役は金子俊郎さんをお願いすることになりました。それからSAAに石月良典さんをお願いすることになりました。この三人で私が迷惑ばかりかけることになるかと思っておりますが、よろしくお祈りしたいと思います。三人の方にはお世話になります。よろしくお祈り申し上げます。

## 幹事報告

五十嵐寿一幹事

新津RCより

創立50周年記念式典のご案内がとどいております。

と き 4月23日(土)PM13:00~

ところ 新津割烹「新森」

ガバナー事務所より

ロータリー財団セミナーのご案内がとどいております。

と き 2月26日(土)AM9:30~

ところ ホテル新潟3F

出席義務者

2005~2006年度ロータリー財団委員長

2月8日(火)は3クラブ合同ロータリー100周年を祝う会です。2月9日(水)と振替えとなりますので、よろしくお祈り致します。

## 2月のお祝い

会員誕生祝

- 4日 荻根澤隆雄さん
- 4日 浅野金治さん
- 5日 川又嘉瑞範さん
- 6日 高森章仁さん
- 10日 藤田説量さん
- 17日 加藤紋次郎さん
- 20日 石塚欣司さん
- 20日 金子俊郎さん
- 26日 斎藤弘文さん



夫人誕生祝

- 9日 藤田幸子さん(統一)
- 9日 長谷川美智子さん(有美)
- 13日 五十嵐浩子さん(浩)
- 14日 松永シゲミさん(一義)
- 22日 斎藤千也子(真澄)

結婚記念祝

- 12日 石月良典さん
- 25日 斎藤弘文さん
- 27日 渋谷正一さん

100%出席賞

- 8年 五十嵐寿一さん
- 1年 平原信行さん

# ニコニコBOX

渡邊喜彦さん

今日は次年度会長の小越君に会長代行をしていただきますので、よろしくお願ひ致します。尚、50周年記念事業を行う渡辺会長予定者の方もよろしくお願ひ致します。

川又さん、卓話ご苦勞様です。

小越憲泰さん

突然の初めての会長挨拶の予行練習です。ドキドキしております。よろしくお願ひ致します。

川又さんの卓話楽しみです。

渡辺勝利さん

日時経過の早いのに恐ろしいような昨今です。所用で早退させていただきます。

藤田紘一さん

川又さん、卓話期待しております。

皆様、風邪に留意のこと。

明田川賢一さん

川又さんの前回のPL法の卓話、大変おもしろかったです。今日も楽しみにしています。

加藤紋次郎さん

明けましておめでとございます。本年も宜しくお願ひします。

永井敏行さん

先週末に初ゴルフをやりました。楽しかったです。

山田富義さん

1月15、16日福島県いわき市へゴルフに行ってきた。雨、風、雪で散々でした。スコアも同じです。

川瀬康裕さん

川又さんの熱意に共感しました。ロータリー万歳！

高森章仁さん

新年会が続いて疲れ気味です。体と財布。

荻根澤隆雄さん

過日、素晴らしい青空の下、名古屋迄ドライブをして来ました。信州アルプスの山並みが大変にキレイでした。

川又会員のプロジェクトX三條版、楽しみにしております。

高橋 司さん、松永一義さん、石塚欣司さん、

五十嵐寿一さん、会田二郎さん、樺山 仁さん、

丸山行彦さん、小柳直人さん、石月良典さん、

杉山幸英さん、船越正夫さん

川又会員、卓話ご苦勞様です。楽しみにしています。

青木文雄さん

都合により早退します。川又会員の卓話、聞けないうで残念です。

外山雅也さん

都合により早退させていただきます。

1月26日分 ￥ 27,000

今年度累計 ￥ 596,000

## 卓話

### プロジェクトX 三條

川又嘉瑞範会員



実は今日の卓話は五十嵐昭一さんなんです。電話をいただきまして、大阪に行くので卓話頼みますと言われてまして、やむなくさせて頂くことになりました。

見ますとロータリー理解月間という題になっていたんで、それに関しては、理解している部分は無いです。例えば、収支明細の細

かい所をあまり理解しておりません。私はロータリーに不服はいっぱいあるんですけど.....

さて、NHKのテレビでプロジェクトXの題名で苦勞話の映像がよく語られています。結構やらせのところもあるんです。だけれども実際、見てみますと大変な苦勞をなさっているんだなあというのがよくわかります。今日の題名でプロジェクトXと書いてありますが、三條にもプロジェクトXに出演できる会社や技術がたくさんあるんです。例えば石油コンロのコロナさんの先代からの苦勞話とか、またダイニチさんの石油気化燃焼の技術とか、その他三條機械さんのタバコ製造の機械ですとか、素晴らしい技術が三條にはあるんです。県央地区の地場産業地帯は殆どみんなプロジェクトXに出られるくらいの企業ばかりなんです。また、シンワさんの測定器は世界一ですし、北陸工業さんもそうなんです。ロータリーのメンバーの会社もプロジェクトXに出られる会社ばかりなんです。これは三條がこのプロジェクトXの宝庫と言いましょか、ただ、こういう人達があまり美味しい御飯を食べていないことも事実なんです。その中で私の目で見えた世界一と思われる技術があります。今日はその話をしようと思います。

その世界一の技術ですが、三條ではあまり珍しい技術です。私が世界を回って見てきても世界一と思われる技術です。それは型打鍛造技術です。私は世界の鍛造技術を見学する機会が10年ぐらい前にありました。アメリカ、ドイツ、チェコ、スペインなどを見てきました。ところが日本の型打鍛造技術とヨーロッパのそれとは大きな違いがあるんです。ヨーロッパの型打鍛造技術は鉄板から造ります。鉄板を切断し、加熱し、それから鍛造に入ります。ところが日本の鍛造は丸棒から入るんです。丸棒を製品にする長さに切断し、ローリング加工という鍛造で粗打ちをし、そしてそれを金型に打ち込んでいきます。東南アジアの鍛造技術も見学してきましたが、日本が進出したり、援助してきた技術ですので日本の技術の方が先生の方です。

鍛造は金型技術と一体となって鍛造技術が上がるんです。この金型技術も三條地区が優れているんです。常温の製品に対して鍛造金型は10/1000～15/1000位大きく彫ります。そしてその金型に約1150に加熱した素材を打ち込むわけです。そして冷めると求

める寸法になるわけです。この1150 の温度もベテランになりますと感覚で±5 の範囲でわかります。このようなベテランが三条にはうぞうぞいます。金型は中間にバリ抜きという工程があります。この時の製品の温度は900 ~ 950 位になっています。この時に使われるバリ抜き型の大きさは製品の5/1000 ~ 10/1000位大きく造られます。この精度は今では機械で簡単に出せるのですが、10年位前までは全部手でやっていました。アタン板1枚で造っていたんです。アタン板をゲージと言うんですが、アタン板の上に図面を書いて、鋏でカットし、カットした所をハンマーでならし、やすりをかけて10/1000の精度で出していたのです。私はこの技術者をプロジェクトXでやったらすごいと思います。鍛造は型打鍛造とフリー鍛造があるのですが、型打鍛造は量産に向いていて鍛冶道場で三条市がやっているのはフリー鍛造です。私は型打鍛造の方に力をいれて欲しいのですが、世界の鍛造を見たときに型打鍛造の方が大事だと思うのです。フリー鍛造ではハガネの切れる包丁を作ることはできるのですが、量産には向かないんです。遅れた技術なんです。どうせ鍛冶道場でやるのなら将来の技術になることをやるべきなんです。

普通のハガネの包丁で鯛の頭を切ったとき、頭は切れるのですが歯こぼれしてしまいます。どんなによく切れる包丁でも刃こぼれしてはダメなんです。そんななかで、刃こぼれしない包丁があるんですが、これは粉末ハイス鋼などの新しい合金を使っているんです。調合チップを鋼に含ませているのです。最新の替え刃鋸などはHRCといわれる硬度の単位で通常の鋼で50 ~ 60くらいの物が70近くあり、折れず、捲れずなんです。この材料を顕微鏡で見ると全部ヒビだらけなんです。鋼でなく、鋼に似たような別の材料なんです。これに衝撃焼入れを施して固い材料にしているんです。このように三条には最新の技術がたくさんあるんです。それも時代を超えた技術がたくさんあるんです。何度も言いますが、私は三条鍛冶道場ではこんな最新技術を取り上げるべきだと思うんです。

それでは残り10分でわが社の技術を紹介します。

車は力学的に1 t車は10 tの車重になります。飛行機も積載量は重量の1/10になります。例えば300人乗りの飛行機は1人100kgと考えると300tの重量になります。最新鋭の800人乗りの飛行機は800 tの重量になります。さて、このような重量物を動かす力は油圧になるのですが、できるだけ軽く出来て力を発生できることを目的にするので油圧が使われています。これも力学があって、一般に空気圧は5 ~ 6kgfと言われています。油圧はその10倍で50 ~ 60kgfで利用されています。油圧は空気の10倍なのです。さらにこの圧力を10倍にできると同じ大きさで10倍の力が出せるのです。これを実用化するには上げた圧力に耐えうるパッキン等の周辺技術をレベルアップしなければなりません。これをうまく利用したのがアーム産業のプロジェクトXでして、これはあまり売れていません。ただ、ニューヨークの同

時多発テロで崩壊したビルの解体や消防のレスキュー隊に使われた実績があります。これは電池で動きます。この中に組み込まれているモーターはDCモーターといわれ、1分間に2万回転します。この回転数は1時間に120万回転、さらに10時間で1千万回転することになります。この回転数を保つのがベアリングでして、これを含めてDCモーターはマブチモーターが独断場です。このDCモーターは回転数は高くても力が出ません。でもこの良さは感電しないことなんです。100V、240Vなんて使うと感電してしまいます。作業現場で感電させられない場合があります。この14VのDCモーターをつけて2万回転させ、スピードを力に変えて、ピストンを動かして、これを荻根沢さんに作ってもらったプラスチックポディーにはめ込んで先端の刃を動かします。その結果、この刃は11 tの力を出します。ここに16mmの鉄筋があります。もちろん手では切れません。手作業では何を使っても切れないのですが、このアーム産業のプロジェクトXではこのようにいとも簡単に切れてしまいます。私はこのような最新技術を鍛冶道場でやって欲しいのです。

実は私はこのような最新技術の商品をつくりながら、昔からの商品もやっています。でも、本当のことを言うと御飯を食べているのはどちらかというと昔の商品なのです。ここがすごくつらいところでございます。いろいろ新しい商品をいくつもいくつも開発してるんですが、実際、それで御飯を食べていこうというのはすごく至難の業で、なかなか世の中がそんなふうに動いてくれなくて、今は特にそうなんですけれど安いほうへ安いほうへとメイドインチャイナの方へ向かっているように思えます。これが私共製造業の泣き所かもしれません。



# 2005～2006年度 三条ロータリークラブ役員・理事・委員会組織表

## 役員

会長	長	小渡	越辺	憲勝	泰利
副会長	長	荻根	根澤	隆和	(クラブ奉仕A)
幹事	事	中柳	村柳	直彦	(クラブ奉仕B)
S	A	小	五十	嵐	一
会	計	五	十	嵐	一

## 理事

藤川	田瀬	紘康	一(職業奉仕)
近藤	藤子	雄介	裕(社会奉仕)
金子	月	俊郎	介(国際奉仕)
石小	出	良典	郎(副幹事)
菊渡	池	子恵	典(副SAA)
石	邊	出	出
	喜	涉	
	彦	彦	彦(直前会長)
	育	於	(50周年実行委員長)

クラブ奉仕A 会長エレクト 渡辺勝利 高橋司 所属小委員会	S	A	A	小柳直人	石月良典		
	職	業	分	広岡豊作	長谷川有美	山本福七	
	類			(2年)		(1年)	
	会	員	増	高橋 司	山田富義	川又嘉瑞範	野水文治
	員	選	考	細井増雄	斎藤弘文	藤田説量	捧 賢一
クラブ奉仕B 副会長 荻根澤隆雄 菊池涉 所属小委員会	ロータリー情報			松谷呉吉	佐野勝榮	五十嵐昭一	渡邊喜彦
	役員・理事指名			(2年)	(3年)	(1年)	
				小越憲泰	中村和彦	渡辺勝利	歴代会長
	クラブ会報			樺山 仁	斎藤真澄	本間道雄	五十嵐 浩
	親睦及び出席			小出子恵出	猪口英夫	阿部吉弘	明田川賢一
職業奉仕				石橋育於	伊藤寛一	松永一義	永井敏行
				佐藤文彦	外山雅也	若槻八十彦	並木富士雄
	スマイルボックス			会田二郎	杉山幸英	清水良一	吉井俊介
	プログラム			菊池 涉	金子俊郎	早川昭雄	佐藤 武
	広報雑誌及び クラブ資料			石塚欣司	柳取崇之	渋谷健一	
社会奉仕	人間尊重 ボランティア活動 及び環境保全			藤田紘一	丸山行彦	浅野金治	小林敬典
国際奉仕				川瀬康裕	高森章仁	船越正夫	熊倉昌平
	ロータリー財団			近藤雄介	橘 直樹	五十嵐 力	西山徳厚
新世代奉仕	米山奨学			青木文雄	加藤紋次郎	五十嵐晋三	
	ローターアクト並びにライラ				石月良典	浅野金治	成田秀雄

## 型付け手拭

西山徳厚会員

三条の地場産品は、金属製品が主体をしめている。しかし時代の流れと共に軸足が変化しつつある。過ぎた時間で振り返って見れば、随分と変わった、それが地方都市の強みである。

一昔前、三条町が三条市になり立ての頃、紺染が栄え、三条町民の足袋は紺足袋で、全国に名を轟かせたり、型付けの紺手拭が主要産品に名を連ねていた時代があった。

清流五十嵐川の水を堀で屋内に引き入れて、洗場を設けた田島の染め物屋など。又、川岸から沖へ突き出して杭を打ち、洗い場を造ったりした。

子供の頃、近所の紺染め屋の藍瓶を大人の真似をして指を突っこんで舐めて藍の出来の良し悪しを調べてみたり、柿渋を塗った型紙を枠に取り付けて、捺染糊を「へら」で引き、木綿布を重ね染料を流し込む作業を手品を見るような気持ちで眺めていたものだ。

その捺染後の紺染め手拭を洗い場に乗り、3りゆ

うの竹竿に引っ掛け振り廻し豪快に洗い流す。腹に晒し木綿を巻き、紺染め手拭一反を竿に引っかけて両足を踏んぱり全力で洗う。時々竿で木綿布を空中にひるがえし、パンと音をさせて水を切る。

イナセな男振りで女性の視線が注がれ、子供心にもカッコ良かった。それらが夏の川辺を彩り川が匂った。

五十嵐川に2軒あったボート屋も無くなり、紺の匂いも遠い昔の思い出になった。川岸の柳も減り、魚影も少ない。

その五十嵐川もやがて大改修になり、コンクリートの護岸になるのだろうか。

私の少年時代は、金魚売り、豆腐屋のラッパ、紙芝居、音が聞こえ匂いがし、路地は子供の遊び場だった。

現代は便利であるが、風情が失せた。五十嵐川にも多少の風情が残ってほしいと考えるのは贅沢な望みだろうか。

次週例会 2月9日(水) 8日(火)に3クラブ合同ロータリー  
100周年を祝う会 PM6:30 ~ 於VIP

次々週例会 2月16日 外部卓話  
ロータリー財団 奨学生 田中眞由美さん

